

指定管理者施設の管理運営状況評価(モニタリング)シート(平成26年度事業分)

1 施設の概要

施設名	山梨県立産業展示交流館アイメッセ山梨	所管課	産業政策課
所在地	甲府市大津町2192-8	設置年月日 (改築年月日等)	平成7年7月7日
管理方式	指定管理者(公益財団法人やまなし産業支援機構、平成18年4月1日～)		
設置根拠 (法律、条例等)	山梨県産業展示交流館設置及び管理条例		
設置目的	産業に関する製品の展示等を通じ、情報、技術、文化等の交流を促進し、もって本県における地場産業の振興及び文化の向上を図るため、産業展示交流館を設置する。		
主な施設内容 (定員等)	展示場(全面利用、三分の二利用、三分の一利用)、屋外展示場、大会議室、展示場に係る設備(冷房設備、暖房設備、音響設備等)、設備器具(テーブル、演台、いす、パネル、スクリーン等)(展示場面積 4,860㎡、屋外展示場面積1,080㎡、大会議室面積212㎡150席)		
主な業務内容	利用の承認に関する業務 施設及び設備器具の維持保全に関する業務 上記のほか、知事が必要と認める業務		

2 類似施設・近隣施設

名称 施設内容 利用状況等	(1) セレス甲府 (2) 甲府市総合市民会館
---------------------	----------------------------

3 利用状況

単位: 人、%

		平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度 (目標値)
利用者数	利用率	34.4%	34.6%	43.7%	36%
	利用者数合計	34.4%	34.6%	43.7%	36%
	目標値	30.0%	33.0%	35.0%	36%
	目標値設定の考え方及びその理由	リピーター28% 新規 2%	リピーター30% 新規 3%	リピーター30% 新規 5%	リピーター30% 新規 6%
	対24年度比	100.0%	100.6%	127.0%	104.7%
稼働率					

4 指定管理業務の収支状況

単位：円、%

		平成25年度	平成26年度 (計画値)	平成26年度 (実績値)	平成27年度 (計画値)
収 入	施設利用料	108,415,659	102,087,000	136,537,350	104,775,000
	指定管理者委託料	0	0	0	0
	その他	8,602,638	15,513,000	17,531,778	15,514,000
	収入合計(A)	117,018,297	117,600,000	154,069,128	120,289,000
支 出	人件費	27,835,890	30,231,000	26,163,582	30,408,000
	県への納付金	12,174,400	12,294,000	12,294,400	12,294,000
	管理運営費	79,647,367	73,736,000	105,659,887	76,752,000
	うち外部委託費(B)	24,412,850	25,730,000	25,322,040	25,481,000
	支出合計(C)	119,657,657	116,261,000	144,117,869	119,454,000
収支差額(A-C)		2,639,360	1,339,000	9,951,259	835,000
外部委託比率(B÷C)		20.4%	22.1%	17.6%	21.3%
利用者一人当たりの経費					

5 利用者満足度

実施方法等	実施時期：平成26年4月～平成27年3月、実施方法：利用者満足度のアンケート、回答数：87人
-------	--

単位：%

調査項目	満足・十分	やや満足	やや不満	不満
施設や設備の整備状況	78.2%	19.5%	2.3%	0.0%
施設のサービス提供	80.5%	19.5%	0.0%	0.0%
職員・スタッフの対応	81.6%	18.4%	0.0%	0.0%
施設全体の満足度	74.7%	24.1%	1.2%	0.0%
再度利用希望	74.7%	25.3%	0.0%	0.0%

利用者の意見	定期バスを運行してほしい。特に土・日。 トイレ、展示ホールなど施設の汚れへの苦情(4件) 展示ホール照明の点灯時間を早くしてほしい。 音響設備が不調であった。 催しが重なる場合は、主催者毎の指定場所への駐車を徹底してほしい。
利用者の意見への対応	について…現状は困難。今後検討していく旨を伝えた。 について…清掃を徹底して改善した。 について…水銀灯であることから現有設備では改善困難な旨を伝えた。 について…修繕を行なった。 について…主催者への徹底と指定駐車場所をサインにて明確に表示するようにした。

6 評価結果

	指定管理者の自己評価	施設所管課の評価
維持管理業務	業務計画書どおり適性に維持管理業務を行なった。故障箇所は、迅速に修繕対応を行なった。	維持管理計画書及び維持管理マニュアルに基づき、概ね適正に実施されている。
運営業務	業務計画書どおり適正に業務を実施した。また、今年度、旅行代理業の登録を行い、宿泊、飲食、設営等の各種業務の手配を一括で行なうワンストップサービスを強化し利用者の利便性向上を図った。	業務計画書に基づき、概ね適正に実施されている。
自主事業	毎年開催している「甲斐クラフトフェア」は、昨年を上回る11,888人の来場があり、盛況であった。閑散期の利用率向上、収益向上に貢献した。	一部事業が運営を別団体に委ねたため、自主事業が減少した。 自主事業は、利用率や収益の向上に貢献する有効な手段であるため、引き続き継続事業実施や新事業の企画などが望まれる。
利用状況	目標値の利用件数83件、利用率35%に対し利用件数89件、利用率43.7%といずれも上回る結果となり目標達成ができた。ワンストップサービス強化による利便性向上が奏功したといえる。	過去からの営業活動及び指定管理者独自の工夫により、利用者からの信頼を得ており、継続利用や大規模イベントの誘致等、利用率の目標を達成した。引き続き利用者確保につながる工夫等が望まれる。
収支状況	計画額に比べ32%、前年比28.7%の増収となった一方で、経費削減を行ない支出額を計画比11.3%増、前年比7.8%増に抑え経常収支差額は25,816千円と計画額、前年実績額を大幅に上回った。	事業収支は、収入・支出ともに増加した。収入増加の主な要因は、利用率向上に伴う利用料収入の増加などである。支出増加の主な要因は、H22他会計からの繰入金相当額を他会計に繰り出したものなどである。
利用者満足度	利用者へのアンケート結果は、「満足」との回答が9割を占めた。ワンストップサービスによる利便性の良さや催事開催に係る利用者への各種提案やコーディネートが奏功したと言える。	利用者からの満足度は高く、利用者の要望について、対応可能な限り速やかに対応されていた。引き続き利用者の利便性を考慮した運営が望まれる。
運営目標の達成状況	全国大会誘致および平日の稼働率向上のため、撮影関係を誘致し、新規顧客を獲得。前年実績を大幅に上回って、当初の目標を達成できた。	
施設所管課による総合的な評価及び指導事項	施設全般の管理は概ね適正に行われており、引き続き適正な管理が望まれる。 また、利用率・収入ともに平成22年度から4年連続して上昇しており、特に平成26年度の利用率は、前年に比べ大幅に上昇(9.1ポイント増)している。 これは、継続的な営業活動及び指定管理者独自のサービスによる、大規模イベント誘致や新規利用者獲得、リピーター確保の結果と考えられる。 今後も、アイメッセ山梨の利用率向上に向け、これらの活動の継続が望まれる。	
施設所管課の指導事項に対する指定管理者の対応状況	・施設の管理については、継続的な改善活動を行い常に最良な状態を目指して、適正な管理を行なっていく。 ・利用率・収入については、更なる営業強化、サービスの向上に努めリピーターを確保するとともに新規利用者の獲得を進める。	

7 管理体制(組織図)

平成26年4月1日現在

